

学位論文の審査基準（博士前期課程）

学位論文は、以下の各項目について論文審査及び最終試験（筆記又は口頭）を行うことによって評価し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。

審査項目

- （１）当該研究領域における修士としての十分な基礎的及び専門的知識を修得しているか。
- （２）提出された学位論文において、当該研究領域における研究の背景、位置付け、目的が明確に述べられており、学位論文として妥当な内容となっているか。
- （３）設定した研究テーマに対して、適切な研究方法、実験計画が立案されており、かつ得られた結果に対して妥当な分析と考察がなされているか。
- （４）論文の記述（本文、図、表、引用文献など）が必要十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- （５）当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、学位論文としての新規性や価値を有するものとなっているか。
- （６）研究を遂行する上で必要となる文献読解等に関する外国語能力が、十分なレベルに達しているか。

学位論文の審査基準（博士後期課程）

学位論文は、以下の各項目について論文審査及び最終試験（筆記又は口頭）を行うことによって評価し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。

審査項目

- （１）当該研究領域における博士としての十分な基礎的及び専門的知識を修得しているか。
- （２）提出された学位論文において、当該研究領域における研究の背景、位置付け、目的が明確に述べられており、学位論文として妥当な内容となっているか。
- （３）設定した研究テーマに対して、適切な研究方法、実験計画が立案されており、かつ得られた結果に対して妥当な分析と考察がなされているか。
- （４）論文の記述（本文、図、表、引用文献など）が必要十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- （５）当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、学位論文としての新規性や価値を有するものとなっているか。
- （６）研究を遂行する上で必要となる文献読解等に関する外国語能力が十分なレベルに達しているか。